



青森学生団体ディベラボ
大平山元遺跡商品開発
事業報告書



青森学生団体ディベラボについて

Development

(発展、進展)

Laboratory

(研究所)

イベントの開催や**商品開発事業**などを通じて、
青森の更なる発展と学生のスキルアップを目指す
学生団体



これまでの実績について



株式会社たかのやさん 青森おやき



穂ろ香さん 陸奥湾弁当



二階堂さん りんごころ

事業概要①～本事業の目的～



- 小牧野遺跡とのコラボ商品販売を通して、遺跡の魅力をPRする
- 外ヶ浜町の大平山元遺跡の魅力発信
- 本事業を通じて青森県全体の遺跡のPRに繋げる
- 地域の方々との活動で、地域活性化を図る

事業概要②～事業内容～



【コンセプト】

コラボ商品を通じて、特に若者に向けて小牧野遺跡・大平山元遺跡の魅力を発信する

【今年度開発した商品等】

オリジナルドリップパックコーヒー、オリジナルベーグル、ようもんゆらり（大平山元遺跡）、PRショート動画

※昨年度開発した小牧野遺跡とのコラボ商品は本格的に販売を開始する

【ご協力いただいた方】

野口珈琲様、KAMA'n'BAGEL様、aomori wool様、rentredu様、動画クリエイター柳松聖吾様

活動スケジュール



- ・2022年4月～ 企画
- ・2023年1月 野口珈琲さん、KAMA 'n' BAGELさん、柳松さんと
それぞれ打ち合わせ
- ・2月 小牧野遺跡での羊毛人形販売開始
外ヶ浜町にてコーヒーの試飲会、ベーグル試作、動画完成
- ・3月 外ヶ浜町役場にて商品完成報告会

オリジナルドリップパックコーヒー

2月に外ヶ浜町で野口珈琲店を営む野口さん協力のもと、マツオスーパーにて学生が試飲会

野口さんが選定した4種類のコーヒーの中から、学生たちに最も好評だったコーヒーを選んだ



イラストレーター 豊川さん

オリジナルベーグル

2月に青森市でカマンベーグルを営む
鎌田さんの協力のもと、オリジナル
ベーグルを製作

生地にどんぐり粉、大平山元遺跡時代
に針葉樹があったということからマツ
の実、クルミや外ヶ浜の鮭とばを使用



ようもんゆらり（大平山元）

ディベラボと小牧野遺跡がコラボした、土偶などをかたどった羊毛の起き上がりこぼし「ようもんゆらり」

今回は外ヶ浜町の大平山元遺跡もりあげ隊公式キャラクターのむーもとコラボした

ラントルデュ須藤さん×青森ウールさん×大平山元遺跡



PR動画

動画はこちらから
ご確認いただけます⇒



収支決算



1 収入の部

(単位:円)

区 分	決算額	摘 要
自己負担額	57,832	
青森市産官学連携プラットフォーム事業費	57,832	
市補助金額	327,000	令和4年度あおもりフィールドスタディ支援事業補助金
その他	24,288	ようもんゆらり販売収入
合 計	409,120	

2 支出の部

(単位:円)

科 目	決算額	内 訳		摘 要
		自己負担	補助金	
事務費	291,770	81,770	210,000	羊毛人形制作費、ベーグル試作代、動画制作代など
原材料費	7,350	350	7,000	ベーグル材料、珈琲代
報償費	70,000	0	70,000	商品撮影代、珈琲パッケージデザイン代
旅費交通費	40,000	0	40,000	大学⇄外ヶ浜 交通費
合 計	409,120	82,120	327,000	

事業成果①



令和3年度から小牧野遺跡と協力して商品開発を行ってきた羊毛人形「ようもんゆらり（全4種）」の本格的な販売を開始し、

遮光器土偶4個、こまっくー2個、りんご1個、金魚5個を売ることができた。

地元新聞社・テレビ局・雑誌・インターネットニュース等にも取り上げていただき、小牧野遺跡の魅力発信に繋げることができた。



小牧野遺跡での羊毛人形販売

事業成果②



青森市・外ヶ浜町内の事業者や、外ヶ浜町の協力のもと、オリジナルドリップバックコーヒー、オリジナルベーグル、羊毛人形のようにもんゆり（大平山元遺跡）、PRショート動画を完成させた。

本格的な販売・拡散は今後実施することとなるが、本事業で、遺跡の魅力発信のきっかけとなるような商品を完成させることができたとともに、試作品の完成について多くの報道機関に取り上げていただき、大平山元遺跡・小牧野遺跡をはじめ、青森県全体の遺跡PRに繋げることができた。

また、地域のさまざまなステークホルダーと協力して商品開発等の活動を行い、地域活性化を図ることもできた。

事業成果②



3月に外ヶ浜町役場にて商品開発完成報告会



完成した商品



取材を受けるディベラボ



関係者様と記念撮影



総評



～今後の展望～

地域の方々とのコラボ商品の完成

→次年度以降イベント等で販売を検討

課題の発見

→コーヒーを作る上で出る残りかすを再利用して商品の作成、新たなビジネスの構想を行う